

第13回 各務原市学校建替基本方針策定委員会 議事録

日 時 令和6年10月21日(月) 13時30分～15時30分
 場 所 産業文化センター2階 第3会議室
 出席委員 鈴木賢一委員長、服部吉彦副委員長、福島茂委員、奥村美樹恵委員、
 佐藤幹彦委員(途中退席)、篠田勲委員、熊崎健二委員、阿部雄介委員、
 杉山幹治委員
 欠席委員 尾関加奈子委員

議 題 議題1 各務原市学校建替基本方針(案)

議事録

1. 開会宣言

2. 議題

議題1 各務原市学校建替基本方針(案)

委員長	この委員会も本日で13回となった。最終の段階に入ってきているので、委員の皆さまには最終チェックのつもりでお願いしたい。本日は、委員10名のうち1名欠席で、委員会としては成立している。 それでは、さっそく基本方針(案)について、事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料説明)
委員	事業の進め方に関して、実際建て替えを行うときには、今と現状が大きく変化している可能性もある。各務原市学校適正規模・適正配置基本計画等の上位計画との関係性も含めて一体的に考えることが重要だと思う。
委員	全体を通して、子どもの表記が「子ども」と「子供」の2つの表記がある。統一した方がよいと思う。
委員長	子供表記はあちこちで議論になる。漢字にするのか全部ひらがなにするのか。
委員	文科省は漢字表記「子供」である。
事務局	各務原市では、「子ども」表記を用いている。念のため内部で再確認する。各務原市の表記で統一する。
委員	全体を通して、「有効である」の表記に関して、「～検討することが有効です。」「～考慮することが有効です。」「～配慮することが有効です」とあるが、検討・考慮・配慮は当然必要なことであるので、「検討する」「考慮する」「配慮する」といった言い回しでよいと思う。
委員	断定することが難しいという議論は以前からもあったので、この表現になってきている経緯は理解できるが、「有効である」という表現が散見されるがゆえに、表現の使い方が適切かどうか全体を通して見直してもらいたい。

事務局	全体的に末尾の言い回しを見直し修正する。
委員	文科省の学習指導要領では主体的・対話的で深い学びを実現するために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実していくといったことが書かれている。 3-4 頁の 3. 各務原らしい学校施設 (1)「主体的・対話的で深い学び」の実現への部分では、協働的な学びの視点が多く書かれているので、個別最適な学びの視点も追加した方がよい。ここに書かれている学校図書館で学んでいる子たちは必ずしも協働的な学びばかりではなく、一人で本を読んだりして学ぶような個別最適な学びも含まれている。また、タブレットが導入されたことだけが個別最適な学びの推進といいきれず、ひとつの手法に過ぎないと思う。主体的・対話的で深い学びの実現のために、協働的な学びと個別最適な学びを一体的に実施していくような意味合いの表現が必要だと思う。
委員長	協働だけでなく個別という言葉も入っていた方がよい。
委員	学校図書館に 3 つの機能を入れているが、子どもは図書館で皆で話し合ったり、個別に探求的な学びをしたりと様々で、視察で訪れた小牧南小学校でも見た通り、その場にリラックスをして本を読んだり、皆で楽しんでいたり様々な動きをしていた。個別最適な学びの視点は必要だと思う。
委員	アンケートの扱い方に関して、項目に関連するアンケートグラフ表記は載せた方がよいが、アンケート結果の一部しか関連しないような項目はグラフ表記なしで、文章の中で割合を表記すればいいと思う。例えば、4-21 頁の「保健室の基本方針」に関しては、アンケート内容も保健室に関することになるのでグラフが必要だと思う。一方で、4-18、4-19 頁のように「多様な背景を持つ児童生徒の空間の基本方針」の部分では、アンケート結果で関連することは一部のみとなるのでグラフ表記はいらないと思う。ただ、初めて読む方にもアンケートの全体像が理解できるように、資料編の部分にアンケートの集計結果や単純集計の結果を追加して、そちらを参照するような書き方にするとよい。
事務局	事務局で入れ方を検討させてもらう。
委員	全体的に第 4 章の各基本方針と趣旨の書き方に統一感がない。基本方針には、どのようなことを書くのか、趣旨にはどのようなことを書くのか基準を明確にして統一した方がよい。
事務局	事務局で内容を検討させていただく。
委員長	現実的には改修や大規模改修の場合も出てくる。どこかにその辺もいれているか。今後の課題のあたりにあたるのか。
事務局	5-8 の課題の部分に大規模改修等を効果的に取り入れることは入れている。
委員長	学校建替基本方針の大枠として入れた方がよい。本方針だけを見ると、現時点で各務原市としてはすべての学校を建て替えることが前提となっているよ

	うにも読めてしまうので、改修も選択肢としてはあることを残しておく必要はあると思う。
事務局	記載する場所を検討させていただく。
委員	5-6 頁（１）学校施設のあり方の部分をみると、文科省の教育のあり方が書かれているが、小中一貫校のことしか明記されていない。国としては小規模校の良さを活かした学校のあり方も認めている。市内でも小規模特認校として稲羽東小学校と緑苑小学校を進めてきた。この内容だけ見ると小規模特認校の２校はどうなるのだろうかと思う。小規模校の位置づけもここに盛り込まなくてよいのか。
事務局	小規模校に関しては、適正規模・適正配置基本計画の方での議論になっており、本方針で盛り込むことが難しいところである。今後の方向性も現時点では決定していない。どういう表現で示すのかを内部で検討させていただく。
委員	学校施設のあり方が小中一貫教育の文脈で書かれているのが問題だと思う。前段の部分に適正規模・適正配置等の基本計画の検討の中で、これまでの経緯もあって小規模の特色を生かした教育も進めている、といった内容をいれる。財政面の視点の他に、それぞれの地域で小規模の方がよいという保護者もいらっしゃると思う。そういうことも含めて検討するという記載が必要だと思う。 また、2-2 頁の 2.児童生徒数の減少の部分をもう少し膨らました内容を今後の課題の中に記載する必要がある。新たに追加していただいた推計をみると、2040 年にピーク時から 3 分の 1 となっている。そういった状況の中でどう進めていくかなどを前段としていれるとよいと思う。 今後の課題としては、実際の建て替え時には児童の減少、適正規模・適正配置基本計画、予算の話を踏まえて検討していく必要がある。
委員長	1-2 頁の上位計画の中で文科省の資料ということがわかるようにした方がよい。
委員	3-2 頁の 2. 基本理念の「趣旨」は、「目標」や「ビジョン」といった言葉に修正した方がいいのではないか。 3-5 頁の「小学校はゾーンとしては明確に区分せずに」の部分が理解しにくい。何と何のゾーンを区別しないのか明確にしたほうがよい。
事務局	表現を検討させていただく。
委員長	3-5、3-6 頁の図の中で、パソコン室が建替え後にはあるのかは疑問に思う。
委員	現在はパソコン教室は無くなっている。
委員	他県の一部の学校で有事の際にすぐ避難できるように土足としているところがある。そういった内容も今後検討することはあるのか。
委員	小学校は避難の際は、上靴のまま避難させるようにしている。また小学生は雨天時にはまだ長靴を履いてくる児童もいるので、逆に下足で行動すると課

	題が多い。また、避難する時も上靴は脱げにくいので、下足より安全である。
委員長	上下足の話ではなく、避難動線の話にした方がいいと思う。上下足の話になると学校生活の話など別の要素が入ってきてしまう。
委員	避難場所は教室も含まれるのか。
事務局	災害のレベルによっては、教室も入る可能性がある。第１段階は体育館である。
委員	岐阜小学校では教室毎に地域の避難場所が振り分けられている。地域の人も学校に出入りしているので、自分の避難場所を把握しているという事例もある。
委員	先ほど、第４章の各基本方針と趣旨の見直しの話をしたが、具体的には、４-５頁（３）普通教室の基本方針で、基本方針としてロッカースペースの確保のみで、普通教室のあるべき姿がかかれておらず、そういった内容が趣旨の方に書かれている 基本方針の中には全体的なビジョンやあるべき姿を書き、趣旨の方でもう少し詳しく書くようにした方がよい。 ４-２１頁の保健室の基本方針でも同じことがいえる。落ち着ける環境、衛生的な環境、プライバシー配慮等。一度全体を通して確認をお願いしたい。
委員	全体を通して、恐らくこの方針を実用するときは今と全然違う教育環境となっていることが想定できる。最近では、不登校の生徒が増え続けている。例えばクールダウンスペースなどでみると岐阜県は６８％導入されているが、全国でみると県単位では全部の小・中学校に導入されている状況である。４-１７頁にあるようなスペースは、建替えの時でなく、いま直ぐに使えるような指針になればと思う。今の学校にも導入していければと思う。
委員長	５-７頁の（２）事業実施に向けた課題の部分について、設計者や事業者を入札だけで決めていくのではなく、地域の方とも連携をとって丁寧な設計をしていただけるような事業者を選定するような内容を入れていただきたい。
委員	５-７頁の○計画・設計段階における検討課題に関して、どういう意図をもって、計画設計段階における検討課題を書くか。どういう基準でこの４項目を記載しているのか見えてこない。この部分に先ほど委員長が言われた「入札だけで決めず地域の方とも連携できる丁寧な設計事業者を選定」といった内容が入ってくるのかもしれない。
委員長	本日たくさんご指摘いただいた。事務局の方には、皆さんの意見を整理していただきたい。 また、本日の場だけでなく随時意見は受け付けているので、言っていただきたい。本日は、以上となる。

２．今後のスケジュール（予定）

次回は、令和６年１１月２０日（水）９：００～ 産業文化センター８階第２会議室で実施する。